

令和6年度 第2回宗像市地域公共交通会議 議事録要旨

日時	令和6年10月4日（金） 13時15分～14時15分
場所	メイトム宗像 101会議室
出席者	【委員】 高崎浩（会長）、江口正男、森正彦、池田舞、高橋祥之、香月肇光、高見邦雄、古後澄雄、寺尾悦治、吉田益美、大枝良直（副会長） 辻美貴善（代理）、宮地信裕、棚橋美智子 【オブザーバー】 右近道弘（代理） 【事務局】 内田忠治、日野友和、平島佳世子、大内田賢美、江本雅基、幸住瑠璃
開会	会長挨拶
報告事項	(1) 通勤通学等支援社会実装事業の結果報告 (2) ラストワンマイル交通需要調査の経過報告
連絡事項	(1) 宮若市からのバスの乗り入れ (2) 次回の地域公共交通会議日程

区分	質疑内容等
会長	開会 会長挨拶
会長	報告事項（1）通勤通学等支援社会実装事業の結果報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局	通勤通学等支援社会実装事業の結果について、利用実態、収支、アンケート結果を中心に説明。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。
森委員	アンケートの「Q3. 夜間時間帯（19～21時）の交通手段がなく不便と感じたことはありますか」の設問について、タクシー事業者は夜間時間帯も運行しているため、設問の聞き方を工夫してもらいたい。
事務局	今後、アンケートを行う際は設問の問い方を工夫したい。
会長	他に質疑等はあるか。（一同質疑なし）
会長	報告事項（2）ラストワンマイル交通需要調査の経過報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局	宗像市ラストワンマイル交通需要調査の途中経過（6～8月）について、申請状況、利用実態を中心に説明。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。
吉田委員	せっかく良い取り組みをしているが、自宅から最寄りのバス停や駅までのラストワンマイル区間の利用が21%と少ない理由について、事務局はどう考えているか。
事務局	6～8月の結果を見る限り、ラストワンマイル区間の移動需要は低く、自宅から目的地まで直接移動する方が多かったことから、ライドシェアやオンデマンドバスなど、自宅から目的地まで移動しやすい交通手段を検討する必要があると受け止めている。
吉田委員	岬地区の場合、サンリブ等買い物に行く場合はタクシーで3,000円以上かかるため、1乗車あたり2,000円まで使えるよう、事業内容を変更してはどうだろうか。
事務局	この事業は自宅から最寄りのバス停や駅までの区間調査を目的としており、この区間の交通需要について結論を出す必要があると考えているため、11月から始まる2期目も今までと同じ事業内容で行いたい。

古後委員	ラストワンマイル交通需要調査の申請が 600 件と少ないのは、申請書を市役所やコミュニティ・センターまで取りに行かなければならないからではないか。地域の回覧板で申請書を配布するなど工夫すれば申請者数も増えるのではないかと考える。 分析レポートの地区ごとの申請率について、事業対象者に絞って申請率を出したほうが良いと思われる。以上 2 点について今後検討いただきたい。
会長	他に質疑等はあるか。（一同質疑なし）
会長	連絡事項（1）宮若市からのバスの乗り入れについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	宮若市からのバスの乗り入れについて、運行経路、運行時間、運行開始までのスケジュール等について説明。
会長	事務局から説明があつたが、質疑等はあるか。
森委員	宮若市からのバスの乗り入れについて、タクシー事業者 4 社で集まり協議した結果、通勤等にタクシーをご利用いただいているお客様を失うことになりかねないため、タクシー事業者としてはこの提案には反対する。
宮地委員	運行事業者が宮若市の事業者ということであるが、宗像市の事業者での運行も検討いただきたい。
吉田委員	運行経路について、南郷地区の野坂を経由する経路になっているのはなぜか。
事務局	宮若市内の企業を目的地とし、タクシーを利用する方もいるため、タクシー事業者との競合を避け、最短経路ではなく迂回する経路を設定。
寺尾委員	宮若市からのバスの乗り入れをすることで宗像市にどのようなメリットがあるか。
事務局	宗像市から宮若市に行きやすくなることに加え、宮若市から買い物に来る人も増え、経済波及効果も期待できると考えている。 また、市としては赤間駅の利用者を増やすことで JR の便数増加に繋げたいと考えている。
吉田委員	運行費用の負担はどうなるか。
事務局	宮若市と協議中である。
会長	他に質疑等はあるか。（一同質疑なし）
会長	これをもって令和 6 年度第 2 回宗像市地域公共交通会議を終了する。

(以上)